

緊急赤潮情報R7-2

令和7年5月30日

大分県農林水産研究指導センター
水産研究部北部水産グループ

杵築市守江湾で有害赤潮プランクトンのヘテロシグマ・アカシオが警戒密度または注意密度を超えて確認されました。

以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

**本種の注意密度は、5,000細胞/ml、
警戒密度は、50,000細胞/mlです。**

(ヘテロシグマ・アカシオの留意点)

- ① このプランクトンは、上下移動を繰り返し、日中は表層に夜間は底層に滞留します。水色や漁模様の急変など、海域監視の強化に努めて下さい。
- ② 特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活け〆出荷等の対策を講じて下さい。
- ③ 赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。

表1 赤潮プランクトン検鏡結果

調査 月日	調査 場所	調査 時間	採水層 (m)	水温 (℃)	塩分 (PSU)	ヘテロシグマ・アカシオ (細胞/ml)
5月28日	中間育成場前	16:00	0	25.2	—	310,000
5月29日	中間育成場前	9:50	0	20.7	—	6,000
	大神漁港	10:10	0	20.5	—	1,200

採水・検鏡: 5/28, 大分県東部振興局農山漁村振興部水産班

5/29, 採水 大分県東部振興局農山漁村振興部水産班, 検鏡 北部水産グループ



海洋状況表示システムを加工して作成